

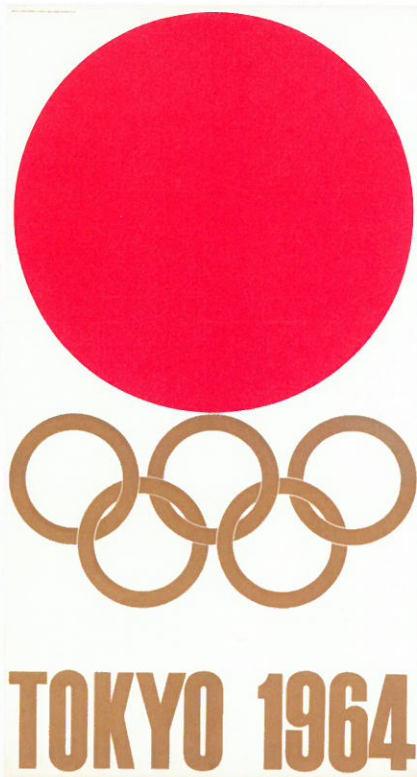
秩父宮記念スポーツ博物館巡回展

Prince Chichibu Memorial Sports Museum on the move

— 2020年東京オリンピック・パラリンピックがやってくる —

The 2020 Olympics and Paralympics are coming to Tokyo

よみがえる感動の一瞬



TOKYO 1964



平成28年1月23日(土) — 3月13日(日)

会場 東北歴史博物館 特別展示室
観覧料 無料(ただし、入場には常設展の観覧券が必要です。)
常設展観覧料: 大人 400(320円)円、
高校生以下無料(カッコ内は20名以上の団体)

休館日 毎週月曜日(祝・休日の場合はその翌日)
開館時間 午前9時30分から午後5時(観覧券の発行は午後4時30分まで)



平成27年度文化庁
「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」

東北歴史博物館

TOHOKU HISTORY MUSEUM
〒985-0862 宮城県多賀城市高崎1-22-1
TEL: 022-368-0101(代) FAX: 022-368-0103(代)
交通アクセス: JR東北本線国府多賀城駅となり

東北歴史博物館

主催: 独立行政法人日本スポーツ振興センター / 特定非営利活動法人日本スポーツ芸術協会 / 公益財団法人日本オリンピック委員会 / 東北歴史博物館
後援: 公益財団法人日本体育協会 / 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会 / 公益財団法人日本博物館協会 / 多賀城市 / 多賀城市教育委員会 / 多賀城市観光協会 / 多賀城・セツ浜商会 / 河北新報社 / 仙台放送局 / TBC東北放送 / 仙台放送 / KKB東日本放送 / ミヤギテレビ / 朝日新聞仙台総局 / 毎日新聞仙台支局 / 読売新聞東京総局 / 産経新聞社東北総局 / 宮城ケーブルテレビ / エフエム仙台 / 三陸河北新報社 / 石巻日日新聞社 / エフエムベイエリア
協力: 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
事業運営: スポーツミュージアム連携・啓発事業実行委員会

秩父宮記念スポーツ博物館巡回展

Prince Chichibu Memorial Sports Museum on the move

— 2020年東京オリンピック・パラリンピックがやってくる —

The 2020 Olympics and Paralympics are coming to Tokyo

1964年10月10日、国立競技場の青空のもと、第18回オリンピック東京大会の幕が華々しく開きました。参加国数が過去最多となるなか、日本選手団は金銀銅あわせて29個のメダルを獲得するなど、目覚ましい活躍をみせました。半世紀を経過した現在でも、歓喜の瞬間は色褪せることなく鮮やかに甦ります。

本展覧会は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、スポーツ遺産を日本全国の皆さまに広めるべく、企画しました。1964年の東京オリンピックを中心に、日本が初出場した1912年のストックホルムオリンピックから2020年に迎える東京オリンピック・パラリンピックに至るまでの歴史を紹介いたします。

日の丸のあゆみは色褪せない



ユニフォーム (三島弥彦)
第5回ストックホルム大会 / 1912年

日本初参加となるストックホルム大会で陸上競技の三島弥彦が実際に着用したものです。



デレゲーションユニフォーム (小野喬)
第18回東京大会 / 1964年

選手宣誓を行った体操競技の小野喬が着用したもの。VANを創設した石津謙介のデザインで、アイビー調のユニフォームが採用された。



友情のメダル
西田修平・大江季雄 (棒高跳)
第11回ベルリン大会 / 1936年

西田と大江は2位3位決定戦を日本人同士で争うことをやめ、帰国後に銀と銅を半分ずつ分け合った。このメダルはその大江が持っていたものである。大江は陸軍に招集され、第2次世界大戦で戦死した。



**第12回国際オリンピック大会開催
東京市決定記念市営自動車乗車券**
第12回東京大会 / 1940年

1940年の東京オリンピック開催を記念して発行された市営自動車乗車券。大会は日中戦争により返上することとなり、幻のオリンピックとなった。

関連イベント

千田健一氏講演会

平成28年2月11日 (木・祝)

時間: 13:30 ~ 15:00
会場: 東北歴史博物館 3F 講堂
定員: 297名 (申込不要、先着順)
参加費: 無料



千田健一

宮城県気仙沼市向洋高等学校長、宮城県フェンシング協会理事。1956年生まれ。気仙沼市出身。小5でフェンシングを始め、気仙沼高校、中央大学で活躍し、1980年モスクワオリンピックの代表となるが日本が参加を辞退。その後は期が浦高校、気仙沼高校の教師として優れた選手を育成してきた。2012年ロンドンオリンピックの銀メダリスト千田健太選手の父。

鈴木省三氏講演会

平成28年3月5日 (土)

時間: 13:30 ~ 15:00
会場: 東北歴史博物館 3F 講堂
定員: 297名 (申込不要、先着順)
参加費: 無料



鈴木省三

仙台大学教授。1955年生まれ。北海道出身。陸上の十種競技の選手だったが、ボブスレーにスカウトされ競技を始める。指導者となることを期待され、26歳で仙台大学に入学。自らボブスレー部を立ち上げ監督兼選手として活躍。1984年サラエボオリンピックの日本代表。サラエボ以降2014年ソチまでの冬季オリンピック全大会に仙台大学の教え子が出場している。

東北歴史博物館

TOHOKU HISTORY MUSEUM

〒985-0862 宮城県多賀城市高崎1-22-1
TEL: 022-368-0101 (代)
FAX: 022-368-0103 (代)

東北歴史博物館



車いすバスケット用車いす
乗車体験
平成28年2月13日(土)
開催予定!

JR線をご利用の方
・JR東北本線(仙台駅から14分)「国府多賀城駅」隣り
・JR仙石線「多賀城駅」下車徒歩25分またはタクシー約10分

お車をご利用の方
・仙台東部道路「仙台北IC」から約10分
・仙台北部道路「利府しらかし台IC」から約15分
・国道4号線若竹インターから国道45号線を塩釜方向に8km(約25分)
・仙台港フェリーターミナルから15分
・無料駐車場(191台・大型バス10台)